

はやま もり
麓山の杜みどり通信

発行元 21世紀記念公園麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL924-2194 FAX924-2195

春で～す！サクラの花が咲きましたあ！



平成25年度「みどり講習会」

次回 5月19日(日)10:30～11:30
場所 麓山の杜『杜のエントランス』

テーマ「記念樹の育て方初歩講座」
※ワンポイント 病害虫とその対応について

記念樹交付「10時～15時」他は事務所へ

ガーデニング
ワンポイント

春はもうそこまできていますよ

今年の冬は気温が低くウメの開花が遅れ気味でした。しかしその後の気温の上昇によりサクラは例年より早く開花しました。ソメイヨシノは開花から一週間ほどで満開を迎えるといわれています。先月に開いた公園内の樹木観察会でもサクラについての話を多くさせていただきました。サクラほど日本人と深く関わりあった植物はないと思います。

【水やり】 この時期は多くの樹木で植え替えの適期です。その時には水やりが結果を左右する大きな要因になります。その後の乾燥が続く時にもあげます。水不足により良い花を見る事が出来ない場合もあります。

【肥料】 寒肥をあたえていればこの時期には必要ありません。芝生にはこの時期に目土をかけ元肥はその後にあげます。

【病害虫防除】 カエデ類には特にアブラムシが新梢に発生します。ただ葉が軟らかい時期の薬剤散布は薬害の恐れがあります。予防の意味合いでアセフェート粒剤の定期的な散布が効果的です。今月の終わり頃からマツノマダラカミキリによるマツ

枯れ予防の為の薬剤散布が必要になります。今年は急に暖かくなり芽の動きが早い為に遅霜の注意が必要になります。植物も暖かくなると寒さに対する防御が弱ってきます。ヤエザクラが咲き終わる頃になるとその心配はなくなります。

【剪定】 針葉樹の刈込剪定の適期です。刈った後から直ぐに萌芽するため切り口が目立たず綺麗に仕上がります。秋咲きの樹木(キンモクセイ、サザンカなど)も早い時期に剪定し樹形を整え、花芽を付けるようにします。サルスベリなどの萌芽の遅い樹種はこの時期に剪定を行います。サルスベリは今年に伸びた新梢の先に花芽をつけるので、強い剪定をします。

【植え替え】 落葉樹は新芽が動き始め遅すぎますのでむきません。常緑広葉樹や針葉樹は新芽が



21世紀記念公園 麓山の杜「みどり通信 No.82」 発行日：平成25年4月11日
伸び始めるまでが適しています。ただ植え替えの場合は土壌改良が必要になります。前に述べました水やりも大切ですが土壌改良はもっと大切です。また近い将来、植え替えを予定している場合はこの時期に根回しを行うと活着がうまくいきます。春まきの草花や球根、苗などは気温に注意して行います。この時期には鉢植えのボタンが店先に並びますが、すぐに地植えにするのではなく秋までは鉢植えのままにしておき秋彼岸頃に植え替えます。

記念樹交付日イベント・緑化相談等予定表

次回交付日	みどり講習会	季節のワンポイント
6月 9日	記念樹の育て方初歩講座	常緑樹の剪定と樹木の夏の管理

公園内の自然観察会を開きましたよ。

先月末に恒例になりました「21世紀記念公園 麓山の杜の樹木観察会」を行いました。観察会の終了後に苔玉づくりも行い多くの方にご参加いただきありがとうございました。観察会のなかでの質疑応答で参加者の皆さんの知識の豊かさに驚かされ楽しいひとときでした。

サクラの話では公園内にはソメイヨシノがあり、その一つの蕾の中に何輪の花が咲くかによって樹勢判断の材料になる事や、この品種はクローンで同一の為に開花日などを比べることが出来る事などを話しました。今サクラは満開の時を迎えています。ただしサクラは毛虫類がつきやすく嫌われることがあります。こんな綺麗な花を咲かせるサクラを花の時期以外も忘れず見てくださいね。

茶室の近くにはサンシュユが咲いています。春先の樹木の花は何色が多いでしょうか？マンサク、レンギョウ、ダンコウバイ、クロモジ、ヤマブキなど・・・黄色の花が多いと思いませんか。春先は蜂などの昆虫が少なくその中で子孫を残し生きていく為には、虫を引き付ける色とされています。話は変わりますが風水でも黄色の花が好まれたりもしますね。

またサザンカも秋からまだ咲き続けています。ツバキも咲きだしました。この両者は大きく分けると秋咲か春咲かの違いがあります。では花の香りはどうでしょうか？一般的に秋咲が多いサザンカは香りがあり、春咲のツバキは少ないといわれています。これも虫を引き付ける為の違いでしょうか。

初夏に咲くエゴノキも公園内にたくさん植えられています。今その枝先を見ると猫の足のようなものがついています。エゴノネコアシとよばれるアブラムシがつくる虫えいです。花の後には実をいっぱい付けますが、この中にはサポニンが含まれ洗剤や川魚の漁に使いました。この時期アセビも白い花をいっぱい付けています。漢字で馬酔木と書きます。アセボトキシンという毒を含んでいるために馬が酔ったようになるからとも言われています。これを煎じて農薬の代わりに使っている人もいます。

今取り上げたものはほんの一例です。公園内にはたくさんの種類の樹木や草花などが植えられ私たち訪れた人を楽しませてくれています。また季節や天候の変化によっても違う表情を見せてくれます。植物は二酸化炭素を吸収し酸素を出す効果や環境の緩衝化の効果などもありますが、緑に接することによる精神的な効果も特に見逃せない事ではないでしょうか。園芸療法という言葉もあるほど緑は私達にとって無くてはならない物ではないでしょうか。公園に足を運んで緑の大切さを再認識しませんか。